

社会福祉 講座 (福祉)

番号	D-01	担当教員	社会福祉 上原 正希 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	災害時における福祉の支援					オンライン 対応	可
授業内容	昨今、各地で地震や台風などによる自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしています。特に高齢者や障がい者など長期間の避難を余儀なくされることは非常に大変なことで、そんな時に、災害時派遣福祉チーム (DWAT: ディーワット) という被災地で支援をする福祉チームが存在します。福祉職の災害時の支援・視点について解説していきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	災害時の困りごと、どんな人がより大変に感じるのか、そして、災害が起きる前の備え、災害が起きた際の支援にはどんな支援が必要なのかなどについて理解することができるようになります。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		
番号	D-02	担当教員	社会福祉 上原 正希 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	医療職と福祉職の共通点と相違点					オンライン 対応	可
授業内容	超高齢社会と地域医療の需要も高まり、地域で暮らす方々のさまざまなニーズに対応できる支援やサービスが求められています。その際、専門職種が互いの専門性を活かし、一つのチームとして支援をしています。そこで、医療職と福祉職の支援する上での共通するところと異なる事をお話し、各専門職の専門性と仕事のやりがいなどについて解説していきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	医療職、福祉職それぞれに専門的な視点や支援の方法が異なります。それぞれの職種の魅力を理解することができます。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		
番号	D-03	担当教員	社会福祉 上原 正希 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	社会保障とは					オンライン 対応	可
授業内容	社会保障制度とは、「病気や老後などの一人では支えきれない生活上のリスクを社会全体で対応する」という制度で、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネットです。身近な制度を題材に社会保障の意味について解説していきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	社会保障制度は、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネットで、子どもからお年寄りまで、全ての人々の生活を生涯にわたって支えるものです。社会保障の仕組みや社会はどうあるべきかを考える機会、仕組みを理解しておくことが、より良い社会人生活を送るための第一歩になります。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		
番号	D-04	担当教員	社会福祉 櫻井 美帆子 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	安心して生活するってどんなこと？					オンライン 対応	不可
授業内容	毎日の暮らしを振り返り、生活の幅広さや多様性に気づくと共に、生活を脅かす出来事をグループワークで考え、発表をしてもらいます。それらに対し社会福祉が果たす働きについて話をします。						
授業のねらい (対象とする生徒)	生活と社会福祉の関係について知って欲しいです。			授業形式	演習		
				受講定員	20名		
番号	D-05	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	50分
授業題目	体験型授業「障害・高齢者」編					オンライン 対応	応相談
授業内容	次のような内容で行います。また、ご要望にあわせて時間や内容を組み替えることもできます。 ①福祉のしごと ②楽しいこと、つらいことは何？ ③福祉現場のレクリエーション ④点字でコミュニケーション (点字体験) ⑤視覚言語 (手話体験) ⑥身体的支援 (介護の技術) ⑦高校時代にやっておくとよいこと *⑥は、道具不要の技術 (ボディメカニクス) です、普通教室で体験できます！						
授業のねらい (対象とする生徒)	障害・高齢者とのコミュニケーションについて学び、この分野におけるコミュニケーションの重要性について学びましょう。			授業形式	講義・実技・演習		
				受講定員	40名程度		

社会福祉 講座 (福祉)

番号	D-06	担当教員	社会福祉 大島 康雄 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～60分	
授業題目	こころの健康を支える精神保健福祉士の仕事						オンライン 対応	可
授業内容	うつ病や統合失調症を学び、ストレスとの向き合い方を考えます。精神保健福祉士の仕事を理解します。							
授業のねらい (対象とする生徒)	メンタルヘルスを理解し、精神保健福祉士について学びます。			授業形式	講義 (グループワークを含む)			
				受講定員	20名			
番号	D-07	担当教員	社会福祉 大島 康雄 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～60分	
授業題目	受容「価値観と多様性」						オンライン 対応	可
授業内容	相談に乗るといことは、相手の気持ちを受容することが必要です。価値観の多様性を学びます。							
授業のねらい (対象とする生徒)	他人の価値観を受容する難しさを学びます。			授業形式	講義 (グループワークを含む)			
				受講定員	20名			
番号	D-08	担当教員	社会福祉 西野 克俊 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	45～60分	
授業題目	コミュニケーションを学ぼう！！						オンライン 対応	不可
授業内容	人間関係を作るコミュニケーションについて考え学びます。 対人関係構築に必要なスキルを身につけるため、「相手の気持ちを考える」「やってほしいこと、やられたくないこと」を考えていきます。また、それをグループで話し合い、主観だけではなく客観的にみるための意見を共有し、実践します。							
授業のねらい (対象とする生徒)	講義・グループワークを通じて、コミュニケーションスキルを学びます。			授業形式	講義・演習			
				受講定員	1クラス			
番号	D-09	担当教員	社会福祉 畠山 明子 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分	
授業題目	福祉と農業をつなぐ共生型農福連携						オンライン 対応	可
授業内容	①農福連携の全国的動向について紹介 ②事例紹介 (社会福祉法人ゆうゆう)							
授業のねらい (対象とする生徒)	北海道当別町にある障害者の就労支援を行う社会福祉法人の事例を取り上げ、障害者の自立と農福連携の可能性を考えます。			授業形式	講義			
				受講定員	制限なし			
番号	D-10	担当教員	社会福祉 畠山 明子 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分	
授業題目	「楽しくなければ居場所でない」住民が輝く居場所づくりとは？						オンライン 対応	可
授業内容	①北海道の少子高齢化、人口減少等の現状を統計データ等を用いて紹介 ②事例紹介 (鷹栖町)							
授業のねらい (対象とする生徒)	北海道鷹栖町で地域住民が中心となって地域の課題を解決する取り組みを紹介します。			授業形式	講義			
				受講定員	制限なし			
番号	D-11	担当教員	社会福祉 蝦名 美穂 専任講師	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分	
授業題目	自分を見つめるワークショップ						オンライン 対応	応相談
授業内容	次のような内容を組み込んで行います。①自分の性格の傾向を TEG を活用して知ります。②『他人から見えている自分』と『自分が思っている自分』の違いを見ます。③自分の強みを伸ばし、弱いところを補うには、どうしたらいいかを考えます。							
授業のねらい (対象とする生徒)	TEGという心理検査を使い自分の性格傾向を知ります。そして、自分が思っている自分と他人から見えている自分の違いに気づき、「なりたい自分」とはどのような人なのか？なりたい自分に近づくために日々の生活でできることは何かと考えます。			授業形式	講義・演習			
				受講定員	応相談			

社会福祉 講座 (福祉)

番号	D-12	担当教員	社会福祉 蝦名 美穂 専任講師	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	50分
授業題目	ストレスって、どんなもの？そのメカニズムと対処法を考えよう！					オンライン 対応	応相談
授業内容	次のような内容を組み込んで行います。①ストレスとはどのようなものか？②自分にとってのストレスラーは何か？③ストレスへの対処法について考えます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	私たちが生活をする上で、ストレスラーに晒され ^{さら} ないで生きていくことはできません。それゆえ、ストレスのメカニズムを知り、自分なりの対処方法を会得することで、しなやかに生きることを実践していきましょう。			授業形式	講義・演習		
				受講定員	制限なし		

番号	D-13	担当教員	社会福祉 蝦名 美穂 専任講師	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	50分
授業題目	どこからがいじめ？いじめについて考えよう！！					オンライン 対応	応相談
授業内容	次のような内容を組み込んで行います。①参加者に事前アンケートを行います。その結果をもとに、「いじめ」とはどのようなものなのかについて考えます。②「いじめ」のメカニズムを知り、その対処方法を考えます。③お互いを尊重する関係について、どのようにすると作ることができるのだろうか考えます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	学校場面だけでなく、様々な場面で見られる「いじめ」。対象となる年代やその背景によって「いじめ」となるものは異なります。人の心を傷つける権利は誰にもないのだということを学び、お互いを尊重することの大切さを学びます。			授業形式	講義・演習		
				受講定員	応相談		

番号	D-14	担当教員	社会福祉 宮崎 剛司 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	「暮らし」を守る視点:身体と心のサインを読み解き、健全な毎日をつくる技術					オンライン 対応	応相談
授業内容	暮らしを支える福祉の仕事は、実はとても奥深いものです。身体や心の仕組みを知る視点を持つことで、「やりたい」を叶える技術が身につきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	本授業では、目まぐるしく変化する現代社会において、受講者が「セルフマネジメントができる存在」として自立することを目的とします。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		

社会福祉 講座 (保育)

番号	D-15	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	50分
授業題目	「保育・福祉のしごと」ガイダンス					オンライン 対応	可
授業内容	介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・幼稚園教諭など福祉分野の資格とその仕事内容、やりがいなどの職業説明です。						
授業のねらい (対象とする生徒)	保育・福祉分野の仕事内容や資格取得について学びましょう。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		

番号	D-16	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	50分
授業題目	「保育園・幼稚園って何が違うの？」職業別ガイダンス					オンライン 対応	可
授業内容	「保育園落ちた日本死ね」2016年、1人の母親が強烈な匿名ブログで投げかけた言葉を発端に幼児教育への注目度も高まりました。そこで、この講座では、保育士・幼稚園教諭・子育て支援員などの資格の説明や仕事の内容、やりがいや失敗談などを、わかりやすく説明します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	保育・幼児教育の仕事内容や資格取得について学びましょう。			授業形式	講義		
				受講定員	制限なし		

社会福祉 講座 (保育)

番号	D-17	担当教員	社会福祉 吉江 幸子 教授	対象	全ての課程・学年・教員・保護者	所要時間	50分
授業題目	体験型授業「こども」編					オンライン 対応	応相談
授業内容	次のような内容で行います。また、ご要望にあわせて時間や内容を組み替えることもできます。 ①保育園と幼稚園の違い ②仕事のやりがい ③保育士の仕事 ④あそび体験 (手あそび・歌あそび) ⑤あそび体験 (おりがみ) ⑥あそび体験 (おもちゃ作り) ⑦高校時代にやっておくとよいことは何?						
授業のねらい (対象とする生徒)	「保育の仕事って、自分にあっているかな?」という気持ちを確かめるきっかけになります。			授業形式	講義・実技・演習		
				受講定員	40名程度		

社会福祉 講座 (教育)

番号	D-18	担当教員	社会福祉 塩崎 大輔 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	応相談
授業題目	地理とGISから防災を考えてみよう					オンライン 対応	応相談
授業内容	主に防災・減災とGISやICTの活用などを取り扱います。下記のような内容を希望に応じて実施します。 1. 自然環境と災害：主に災害に関する基礎的知識を理解します。(学習進度に応じて対応) 2. GISを使って、身近なリスクを知ろう：地理院地図やハザードマップポータルサイトを活用して、身近な災害リスクを調べる技能を身につけます。 3. 防災と最先端技術：VRなどの最先端技術を活用した防災・減災への取り組みを紹介(体験可) 4. 過去・現在・未来：過去の災害事例や現在の防災・減災への取り組み、また最新の研究成果などを紹介します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	この授業では地理と防災について考えることをねらいとしています。また考えるためのツールとして、地理情報システム(GIS)やVRなどの最先端技術を体験・活用します。特に高校地理総合ではGISと防災がカリキュラムに組み込まれており、GISと防災を横断的に考える機会になります。			授業形式	講義+α		
				受講定員	応相談		